

2023年6月15日(木) ハコラク7月号 掲載

ドクターコラム『子どものいびき』

耳鼻咽喉科 安川 真一郎 科長

子どものいびき



函館中央病院
耳鼻咽喉科
安川 真一郎 科長

夜中に子どもが寝ているとき、「いびき」を聞いていませんか？あまり知られていませんが、子どものいびきの患者は意外と多いです。いびきとは、睡眠中に鼻や喉などの空気の通り道が狭くなり、ここを空気が通過する際に生じた乱流により粘膜が振動して起こる異常呼吸音のことです。眠りの質が低下し、寝不足のため学校でボーッとすることが増え、勉強についていけなくなったり

することがあります。原因は3つに大別されます。1つ目は鼻炎。風邪をひいたときや、花粉症などのアレルギー性鼻炎により、鼻の粘膜腫脹を生じます。2つ目はアデノイド増殖症。咽頭(のど)の最上部で鼻の奥と繋がる部分にある組織をアデノイドと呼び、炎症により肥大しますが、生理的な肥大もみとめます。3つ目は口蓋扁桃肥大。こちらも扁桃炎などの炎症を繰り返すことで肥大しますが、生

略歴 平成20年、北海道大学医学部卒業後、市立札幌病院、北海道大学病院、釧路市立総合病院、砂川市立病院、北海道大学大学院医学院、市立旭川病院勤務を経て、平成31年、函館中央病院耳鼻咽喉科に兼任と同時に医長に就任。令和5年、同院耳鼻咽喉科科長に就任。日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会耳鼻咽喉科専門医。

理的な肥大もみとめます。これらにより鼻や喉の空気の通り道が狭くなることで、いびきが生じます。鼻炎は内服薬や点鼻薬で改善することもあります。扁桃肥大は構造の問題であり、薬剤での改善が難しく、手術が必要なこともあります。手術は全身麻酔下に行い、手術時間は1時間程度、入院期間は術後1週間程度です。子どものいびきに対し、親としてはさまざまな考え方があり、思われます。がんなどの命に関わる病気であれば手術の決心が付きやすいと思いますが、機能改善手術、特に全身麻酔での手術になると不安が強く、悩む親も多いと思います。しかし、仰向けだといびきがひどく、うつ伏せで口を開けて寝ていた子どもが手術をすると、手術したその日の夜から静かに仰向けで寝られるようになり、「呼吸がすごく楽になった」と喜ぶ親子もいらつしゃいます。子どものいびきで悩んでいる方は、一度、耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。



函館中央病院 函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <https://chubyou.com/>

■診療科目/糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科
脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など、全26科目
■受付時間/8:30~11:30、13:30~16:00 ※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
■休診日/日曜・祝日・年末年始

